

勝高だより

6月号

第99号 平成25年 6月24日発行

岡山県立勝山高等学校 広報誌

TEL (0867) 44-2628

FAX (0867) 44-4730

HP <http://www.katuyama.okayama-c.ed.jp>

6月の行事予定

- 29日(土) 土曜日学習
- 30日(日) 漢字検定

7月の行事予定

- 4日(木)～10日(水) 期末考査
- 7日(日) 全商ワープロ検定
- 10日(水) アダプト事業
- 11日(木) カウンセラー来校
- 13日(土) 進研模試、公務員模試
- 14日(日) 進研模試③
- 16日(火)～18日(木)
インターンシップ ビ②
- 17日(水) 漢字テスト
乳幼児ふれあい体験 ビ③
- 19日(金) 終業式
- 22日(月)～30日(火) 夏期補習 普
- 23日(火)～26日(木)
インターナショナルウィーク
- 24日(水) 夢現プロジェクト校外学習普①
- 25日(木) カウンセラー来校
- 27日(土) 代ゼミマーク模試③
公務員模試
- 28日(日) 代ゼミマーク模試③
- 31日(水)～8月3日(土) 夏季セミナー③

表記 ①…1年生 ②…2年生 ③…3年生

よいや～よいやっ!



5月23日(木)中間考査の最終日の午後、勝山文化センターポンテホールにて、芸術鑑賞会が行われました。今年は和泉元彌氏と9世三宅藤九郎氏による狂言を鑑賞しました。公演後のワークショップでは、ホール中に響き渡る声で、狂言の発声を体験したほか、代表生徒が能舞台の上で、姿勢や歩き方を体験しました。

舞台の装置がとてもシンプルで驚きました。もっと色々背景等の用意があると思っていたので意外でしたが、だからこそ狂言を身近に感じることができました。

動作の全てにルールがあるとおっしゃっていた通り、芝居はとても洗練されていて美しいなあと思いました。また、少しですが、狂言を習い、体験することができてよかったです。(生徒の感想文より抜粋)



教育実習 先輩 教壇に立つ

6月3日(月)から2週間、または3週間の日程で教育実習が行われています。今年は数学、英語、地理歴史、家庭科、体育の実習生が教育実習を行っています。

6月5日(水)に行われた「実習生による講話」では、高校生活を楽しむこと、勉強をするのは「今」であるということ、充実した高校生活のために、あらゆることに挑戦してほしいということなど、先輩ならではの身近な言葉で生徒に伝えてくれました。



梅雨ですね。

本校の前庭にある池には、今年数年ぶりに水が張られました。雨の日の池には、雨音とともに蛙の音が響きます。



吹奏楽部ホールいっぱい響きわたる



6月2日(日)勝山文化センターポンテホールで、勝山高校吹奏楽部第8回定期演奏会が開催されました。1年生から3年生まで総勢47名の部員による演奏は、迫力があり、第1部では吹奏楽コンクールの課題曲である「エンターテインメント・マーチ」など3曲を、第2部では少人数のアンサンブルを、第3部ではポップスやジャズの名曲を披露しました。定期演奏会のおなじみとなった「青春プレイバック」では3年生部員によるダンスや男子部員のダンスで会場中が盛り上がりました。アンコールの「勝手にシンドバッド」を演奏し終え、晴れやかな顔で舞台に立つ部員には、客席を埋め尽くした500名の観客から温かい拍手が送られました。

新・生徒会役員決まる！

5月28日(水)生徒総会および生徒会役員選挙が行われ、今年度の生徒会長、生徒会副会長が決定しました。立候補者の演説では「校内外での挨拶を活発にして、勝山高校を盛り上げたい。」「勝高の良いところをもっともっと発信したい。」「意見箱を設置して、より良い生徒会にしたい。」と力強く語りました。

平成25年度の生徒会役員は次の通りです。

生徒会長 古林 樹奈さん

生徒会副会長 有富 航大さん 兼宗 里沙さん



『高校生の親として』

5月18日(土)PTA総会、教育講演会

今年度のPTA総会および教育講演会が勝山高校で行われ、123名の保護者の方が出席されました。教育講演会では本校非常勤講師の二宗佳代子先生に講師をお願いし、体と心の成長がアンバランスな高校生の親としてのあり方について講演を聞きました。子どもの力を信じ、尊重すること、自分だけ、自分の家庭だけの幸せを求めないことなどを温かくも力強い言葉で語られました。PTA総会とともに授業参観やクラス懇談も行いました。ご出席いただいた皆様、ありがとうございました。来年度も多くの保護者の皆様のご参加をお待ちしております。



夢現プロジェクト

1年生新聞を学ぶ Newspaper in Education

教育に新聞を

※この記事は、今回新聞の作り方を学んだ生徒が作成しました！



6月5日(水)山陽新聞社の記者の方をお招きし、授業が行われ、1年生約130名が参加した。読者局NIE推進部の新田真浩記者、斎藤英宗記者が講師を務めてくださった。授業では新聞の特徴、インターネットやテレビとの違い、そして新聞を作るにあたって大切にしていることなど多くのことを語られた。特に印象に残ったのは新聞の売りは信頼性にあるということ。相手に伝わりやすくするために、様々な工夫がなされているということだった。社会に出ていく上でこの力はとても必要だと思うので、今後の学校生活のためになる授業であった。終了後、多目的活動車「さん太」でこの日の授業の様子を伝えるカラー号外が発行され、生徒に配布された。